

勘助の出生地は豊橋説が有力

戦国史研究家・鈴木さん自説

で会
豊橋講

山本勘助の出生地は豊橋説が有力。今、放映中のNHK大河ドラマのヒーローを取り上げた講演会が11日夕、豊橋ハートセンターホールで開かれた。

「豊橋の人・山本勘助」をテーマにしたのは、地元の戦国史研究家・鈴木健氏。会場には大勢の患者や家族らが集まり満席。鈴木孝彦院長が「興味深い話をじっくりと聞き、歴史認識を深めて」とあいさつ。

講師の鈴木氏は、長年

の調査などから勘助について詳細を述べた。信玄の軍師として功績を残し城作りの名人でありながら

ら、彼を描いた書物が少なく、出生地も諸説あるなど謎が多い。一時期は架空の人物といわれた



大勢の人々を前に戦国ヒーローの謎を語る鈴木氏

豊橋ハートセンターで

などと前置きし、皆が一

番関心を持つ出生地は富士宮市や豊川市牛久保町、豊橋市賀茂町、讃岐など諸説あるが、豊橋説が有力だと思つたと史観を。理由は出生を書いた古い文献が同地に多く残り、物証もほかより勝っているからと述べた。

後半では現地調査の時、武田家16世と織田家13世らと並ぶ記念写真なども披露した。来場者らは真剣に耳を傾け、ノートを取る熱心な人もいた。

墓碑も各地にあるが、最近知ったのは豊橋市嵩山町の正宗寺に勘助愛用の茶釜が寺宝として残っているとも話した。また、大河ドラマの原作者・井上靖の作品や、新田次郎の作品にも数々相違点があるし、没年論も69歳説と62歳説があり定かではない。いずれも歴史書ではなく小説だという理解

鈴木氏は、豊橋生まれ。時習館高校卒、愛大短期学部法経科卒後、愛知銀行に勤務。平成4年に定年退職。在職中から東三河の戦国史や人物などの研究を。「武田三代歴史と史跡探訪」「東三河戦国時代」「東三河の史跡めぐり・長篠設楽原の戦い」などの著書がある。

(星野のりこ)